

Based on a True Story

Ryohei Kan Solo Exhibition

2024.7.20 sat – 10.14 mon holiday

Ryohei Kan
菅亮平



2024年7月20日〔土〕

10月14日〔月・祝〕

原爆の凶丸木美術館

〒355-0076 埼玉県東松山市千唐子1401
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371
<https://marukigallery.jp/> info@marukigallery.jp

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日（祝日にあたる場合は翌平日、8/1-8/15は無休）

入館料：一般 900円、中高生または18歳未満 600円、小学生 400円、

60歳以上・団体（20名以上）比企・東松山在住者・チラシ持参は100円割引、障がい者は半額

主催：原爆の凶丸木美術館 助成：公益財団法人野村財団

協賛：株式会社カラーサイエンスラボ 後援：ドイツ学術交流会（DAAD）



原爆の凶丸木美術館

「空虚（ヴォイド）」を主題とした創作に取り組む菅亮平は、広島において2021年に原爆ドームの第5回保存工事で使用された塗料による絵画作品《K 15-30D》の制作を開始するなど、戦後の歴史継承の問題をめぐって想起の芸術の今日的な可能性を追求しています。本展では、広島平和記念資料館の被爆再現人形を題材としたリサーチ・プロジェクトが発表されます。被爆再現人形とは、1991年から2017年まで同館で展示された、原子爆弾が投下された広島の被爆直後の灰塵に帰した都市の一角を再現したジオラマ内の成人女性と女子学生、男子を模したプラスチック製の等身大の人形三体を指しています。

2010年に広島市が策定した「広島平和記念資料館展示整備等基本計画」の中でジオラマと人形の撤去の方針が示され、2013年以降に被爆再現人形論争とも言うべき賛否両論の議論に発展します。最終的に、被爆の実相を実物資料で表現する方針によって、人形展示は2017年に一掃されることとなりました。このように世間の耳目を集めた人形ですが、製作過程は不明な点が多く、燃え盛る炎の表現が演出されたジオラマ展示においてその詳細を観察することはできませんでした。一連の経緯に関心を持った菅は、同館で保管されていたこれらの人形の現状調査を行うことにしました。文化財保存・修復の専門家に協力を依頼し、対象となるオブジェクトの表面・内部・構造・組成等の成り立ちを明らかにすることを試みます。

本展のタイトル「Based on a True Story (実話に基づいて)」は、しばしば映画やドラマ、本の冒頭で記載される文言です。この言葉は、視聴者や読者に対してその作品への共感を喚起する効果がある一方で、どの程度の事実に基づいていて、どの程度の脚色を含んでいるのかについては、曖昧さを含んでいます。戦争はときに想像を絶する圧倒的な暴力を人々にもたらします。そうした歴史の断絶と死の記憶を継承する上で、「ドキュメント」と「フィクション」は、どのような関係性にあるのでしょうか。表象の可能性を問い続けてきた菅は、被爆再現人形と向き合う本作を通して、歴史継承のメソッドについて再考を促す契機を企図しています。

※本展は被爆再現人形本体の展示を行うものではありません。



菅亮平 | Ryohei KAN

1983年愛媛県生まれ。2016年に東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了、博士号(美術)を取得。「空虚(Void)」をめぐる思考をもとに、多様なメディアを横断的に扱いながら作品制作とアートプロジェクトに取り組み、国内外で発表する。

[トークイベント] 参加費無料、要入館料

7月20日(土) 15:00-16:00

「アーティストとして広島で考えること」

菅亮平+岡村幸宣(原爆の図丸木美術館 学芸員)

9月14日(土) 15:00-16:00

「想起の芸術と人形の表象をめぐって」

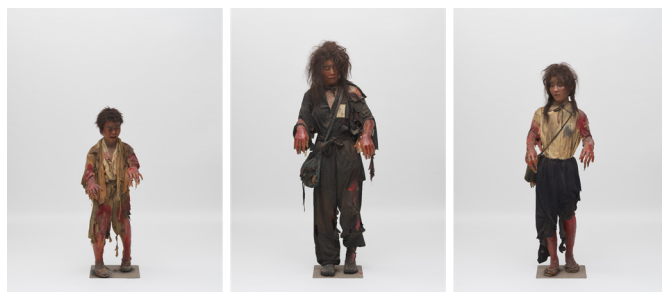
菅亮平+香川檀(武蔵大学名誉教授 / 表象文化論)

10月14日(月・祝) 15:00-16:00

「彫刻史からみる被爆再現人形」

菅亮平+石崎尚(愛知県美術館学芸員)

各イベントの詳細はホームページをご覧ください。



Unknown People - Mannequins Depicting A-bomb Victims
2024年 / 各1450×1940mm / インクジェットプリント



Documentary of the Project Researching the Mannequins Depicting A-bomb Victims
2024年 / シングルチャンネルビデオ



K 15-30D
2022年 / 3909×1904mm / キャンバスにフッ素樹脂塗料
Photo: Kensuke Hashimoto

[交通アクセス]

○電車でお越しの場合

池袋駅より東武東上線急行で約1時間(東松山駅・森林公園駅・つきのわ駅)

森林公園駅 南口より(約3.5km)タクシー 約12分・徒歩 約50分

東松山駅 東口より(日祝除く)4番乗り場より市内循環バス

「唐子コース」(日祝運休) 約15分「丸木美術館東」で下車し、徒歩約15分

【バス時刻表】 8:45、10:10、11:10、12:10、14:30、15:35

つきのわ駅より(約2.5km)徒歩 約30分

○自動車でお越しの場合

関越自動車道、東松山インターより小川方面10分

【開館時間】 午前9時～午後5時

【休館日】 月曜日(祝日にあたる場合は翌平日、8/1-8/15は無休)

【入館料】 一般 900円、中高生または18歳未満 600円、小学生 400円

60歳以上・団体(20名以上) 比企・東松山在住者・チラシ持参は

100円割引、障がい者は半額



原爆の図丸木美術館

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

<https://marukigallery.jp/> info@marukigallery.jp

原爆の図保存基金へのご支援にご協力ください。 <https://marukigallery.jp/support/donate/>